

在宅医療・介護領域の実務者及び自治体関係者へのヒアリングについて（案）

第3回検討会で予定している標記ヒアリング項目は、主に以下のとおりとし、事前にヒアリングシートへの記入を依頼することとしてはどうか。

○ 在宅医療・介護領域の実務者へのヒアリング項目

1 配食利用者に関する情報

利用背景、利用状況、利用者の属性 等

2 在宅療養者等が配食を利用するに当たり、栄養管理上、どのような課題があるか。

3 配食に係る栄養管理

(1) 献立全般について

① 献立作成はどのような者（有資格者かどうか）が担当するのが望ましいか。

② 献立の栄養価のばらつきはどのように管理されているのが望ましいか。
（管理栄養士・栄養士等の有資格者による栄養計算により、1週間の献立で±0%以内になるように管理されている等）

③ メニューサイクルはどの程度であるのが望ましいか（その理由も）

(2) エネルギーやたんぱく質等の量を調整した商品（以下「コントロール食」という。）について

① （取扱事業者については）どのような商品ラインナップが望ましいか。

② エネルギーやたんぱく質の量がどのくらいのオーダー（程度）で対応されているとよいか。（その理由も）

(3) 嚥下調整食について

① （取扱事業者については）どのような商品ラインナップが望ましいか。

② 物性（硬さ、付着性、凝集性等）はどのような考えのもと設定されているのが望ましいか。（関連学会の嚥下調整食分類に準拠しているなど）

4 配食利用者に対する健康支援として、配食事業者に期待したいことは何か。 （注文時の対応、利用開始後のフォローアップ、その他の健康支援 等）

5 配食利用者が受動的に配食を利用するのではなく、配食を自らの健康管理に自主的かつ適切に役立てていけるようにするには、どのような方策・仕組み

が考えられるか（実務者自身による栄養食事指導の強化等は除く。）。

6 配食事業の内容を、栄養ケアの実務者が効果的・効率的に把握できるようにするためには、どのような情報がどのように整理されているとよいか。

7 その他御意見等

○ 自治体関係者へのヒアリング項目

1 自治体の基本情報

人口、高齢者人口（65～74歳、75歳以上）、世帯主が65歳以上の夫婦のみの世帯及び単独世帯の全世帯に占める割合、在宅高齢者に関するその他の関連統計等

2 自治体における配食事業の展開状況（当該自治体で配食事業を実施していない場合は除く。）

（1）配食事業の沿革

（2）現在の事業概要

配食事業の位置付け（「総合事業での実施」等）、事業者の指定基準・事業者の属性、利用者の属性・人数・食数・利用頻度、利用者1人当たりの配食費用の助成額・介護保険サービス利用状況等

3 配食利用者に対する健康支援として、配食事業者に期待したいことは何か。（注文時の対応、利用開始後のフォローアップ、その他の健康支援等）

4 配食利用者が受動的に配食を利用するのではなく、配食を自らの健康管理に自主的かつ適切に役立てていけるようにするには、どのような方策・仕組みが考えられるか。

5 その他御意見等

○ 在宅医療・介護領域の実務者へのヒアリングは江頭構成員に、また、自治体関係者へのヒアリングは田中構成員（福岡県）及び堀江構成員（埼玉県和光市）に対して行う。（座長との協議の上、他の実務者や自治体関係者にも追加依頼する可能性あり。）